

## 中川根町

### 地形概況

中央を南流し、広い河床をもつ大井川の東側は下泉河内川流域山地、西側は榛原川・長尾川・境川流域山地からなり下刻が進み、崩壊地も多い。徳山・上長尾・下長尾は河岸段丘・旧河道・小扇状地・河谷低地などからなり地形は多彩である。

### 地質概況

北部は砂岩と泥岩が互層となる寸又川層群、中部が砂岩と泥岩の互層となる犬居層群、東部から南部にかけては泥岩や砂岩泥岩の乱雑層からなる三倉層群の地層が分布する。北東南西方向の帯状配列と構造をもち、蛇紋岩の貫入部も点在する。

### 気象概況

年平均気温は推定 14.4℃と低く、盆地や窪地では一日および年間の温度差が共に大きく、地盤の標高が高くなるにつれて気温が低下する。年平均降水量は推定 3,100mm と日本でも雨量の多いことで知られ、断続した強い降雨に見まわれることが多い。

### 災害事例 台風

- 1910年8月9日(明治43年)  
全県下特に中・西部で被害が大きかった。徳山(中川根町)での日雨量は、8日380mm、9日297mmに達した。
- 1904年7月10日(明治37年)  
8～10日大雨となり、徳山で9日の日雨量353mm、10日294mmを記録した。

### 災害事例 旱魃

- 1926(大正15年)  
県下全般に旱魃で、農作物は大被害を受けた。中川根町徳山の7月の雨量は197mmで平年より258mm少なく、8月の雨量は88mmで平年より412mmも少なかった。

### 災害事例 冷害

- 1836(天保7年)  
雨天続きと冷害で、川根地方は大飢饉となった。各村から嘆願書が出されている。